

2026年6月18日

新しい学習指導要領について話し合っているみなさまへ

(中央教育審議会 教育課程部会

道徳ワーキンググループ 主査 頼住 光子 様)

広げよう！子どもの権利条約キャンペーン

共同代表 甲斐田万智子、喜多明人、野村武司

【子ども向け版】道徳をよりよくするための要望書 ～道徳に、子どもの権利・人権教育をいれてください！～

道徳では、自分やほかの人を大切にすることや、よりよい生き方について学びます。

私たちは、これからの道徳が「何が正しいかを教わる時間」だけでなく、子どもが自分の権利や人権について学び、考え、話し合える時間になってほしいと考えています。

そのために、次の4つを要望しています。

要望 1. 道徳で「子どもの権利」を大切にすることをはっきり示す

私たちは、道徳の目標の中に「子どもの権利」をはっきり位置づけてほしいと考えています。

子どもは、大人に守られるだけの存在ではありません。自分の考えを持ち、意見を伝え、自分で考えて行動することができる大切な一人の人です。

そのため、自分の権利を知り、ほかの人の権利も大切にしながら、お互いを大切にできる力を育ててほしいと考えています。

要望 2. 道徳で人権や子どもの権利について学べるようにする

私たちは、道徳で子どもの権利や人権について学ぶ機会を増やしてほしいと考えています。

たとえば、

- 子どもの権利、
- いじめや暴力をなくすこと、
- 差別をしないこと、
- 男女の平等、
- 一人ひとりの違いを大切すること

などについて学べるようにしてほしいと考えています。

また、自分で考えて決めることや、話し合いを通してみんなで考えることも大切にしてほしいと思います。

要望 3. 「教わる道徳」から「話し合う道徳」へ変える

私たちは、先生が答えを教えるだけでなく、子ども同士と先生と子どもが意見を出し合いながら、自分で考えを深めていく時間を増やしてほしいと考えています。

そのために、

- 自分の考えを安心して話せること、

- 友だちや先生の考えに耳を傾けること、
- 違う考えや感じ方を大切にしながら話し合うこと、
- 学校や社会の問題についてみんなで考え続けること

を大切にしてほしいと考えています。

話し合いを通して、自分で考え、みんなでよりよい答えを見つける力を育ててほしいと思います。

要望 4. 学校全体を人権を大切にできる場所にする

私たちは、道徳の授業だけでなく、学校全体で子どもの権利や人権を大切にしてほしいと考えています。

そのために、

- 体罰やハラスメントをなくすこと、
- 安心して相談できること、
- 子どもの意見を学校生活に生かすこと、
- 校則について話し合えること、
- 一人ひとりの尊厳が守られること

を大切にしてほしいと考えています。

学校が安心できる場所になることで、子どもは自分らしく学び、成長できるようになります。

私たちは、この 4 つが実現することで、自分も相手も大切にしながら、一人ひとりが安心して学べる学校になることを願っています。

そして、道徳が「正しい答えを覚える時間」ではなく、子どもの権利や人権について学び、考え、話し合いながら行動する力を育てる時間になることを願っています。

以上